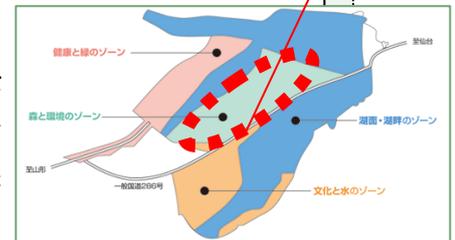


# みちのく森の楽校だより 第7回

## みちのく公園「里山地区」とは？

みちのく公園「里山地区」は、仙台市の水瓶である釜房湖に面した里山です。ここにはかつて薪を採り炭焼きをしていた雑木林や、100年程前に植えられたスギ林があり、尾根には馬が荷を引いた里道、谷あいにはため池や棚田の跡もみられます。

みちのく公園では、この「里山地区」を、釜房湖という仙台市の水源を涵養するかけがえのない森であると捉え、その健全化のための樹林管理を行うとともに、人と自然とのかかわりが培ってきた里山の自然や文化を保全、継承し、今日に活かすことを目指しています。



## 10月25日(土) 晴れ すがすがしい秋の1日でした！

森の楽校の第7回は、10月の末。雲ひとつない快晴で、とてもさわやかな秋の1日の活動でした。

「アカマツダイラ」でデッキづくりを始めます。前回の活動で、材料となるスギを伐倒！その材をボランティアが予め玉切りをして、運んでおきました。

4mの材を柱に使うため、皮剥きをして、防腐剤を塗りました。次回はいよいよ建て込みです。

## お花炭づくり！

お花炭って知っていますか？お花炭とは、「飾り炭」とも呼ばれ、優雅で高尚なものとして珍重されてきたと言われています。木の実、葉、花、果物など素材そのままの形で炭化させてつくる炭の一種です。

今日はそのお花炭に挑戦！森の楽校に行く間に、炭にしたいものを拾います。栗のイガ、ドングリなど。アカマツダイラでは松ぼっくりやキノコ。

空き缶にもみ殻を敷き、その上に炭材を置き、カマドの火にかけました。缶の隙間から煙が出て、やがて少なくなったので、火からおろしてしばらく放置して冷やします。

そうっと缶を開けてみました。ちょっと火が弱かったようで、生焼けのものがありました。

これに懲りずに、またチャレンジします。



## 飯盒炊飯と焼き芋づくり

お花炭づくりと飯盒炊飯のカマドの火を使って、秋の味覚の焼き芋づくり！サツマイモはボランティアの差し入れです。濡れ新聞に包み、その上にアルミホイルで包み、火の中に入れました。



## お昼は芋煮

これが今日のお昼です。飯盒で炊いたちょっと焦げたご飯、山形風の芋煮、大根の寒麴漬け、大根葉の炒め物。秋ですね～



